



議会議会 だより

したら

76号

令和6年
11月13日発行

もくじ

- 臨時会・全員協議会・
定例会・委員会報告 … 2
- 議員6名の一般質問 …… 11
- 議会活動報告 …… 14

発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp

第4回 全員協 議会(8月)

8月22日に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。
8月5日の落雷の影響で、役場の議場の空調・照明が使えないため津具支所の議場で行いました。

・訴えの提起について



第1回 臨時会 (7月)

7月2日に開催し、3件の議案を審議・採決を行いました。

件名	結果
■ 契約締結 工事請負契約2件 補正予算1件 計3件 ■ 工事請負契約の締結 (簡易水道配水管更新工事田口地内)、(簡易水道配水管更新工事東納庫地内)	3議案を全員賛成で可決

主な質疑 簡易水道工事中に駅伝大会

Q 簡易水道配水管更新工事東納庫地内は、郡の駅伝大会と工期が重なるので調整をお願いしたい。

A 駅伝大会の支障にならないよう調整させていただく。

第3回 定例会 (9月)

9月5日から9月20日までの16日間の会期で開催しました。初日は議案の上程、説明及び各委員会への付託を行い、9日は6人の議員による一般質問がありました。10日に決算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、11日に決算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員、13日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日の20日は各委員会に付託された議案の審議の結果報告、採決を行い、さらに追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果
報告 令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率について 1件	特に意見等なし
同意 教育委員会委員の任命 / 計2件	①丸山知美氏 → 全員賛成で同意 ②伊藤 潤氏 → 全員賛成で同意
発議 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	全員賛成で可決
議案 ①訴えの提起 1件 訴えの提起(委託料返還請求事件) ②愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更 1件 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更(被保険者証及び資格証明書を資格確認書等に改める) ③設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例 1件 国民健康保険条例の一部を改正する条例(被保険者証の返還の削除、国民健康保険料最長1年間の猶予期間の設置) ④設楽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 1件 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例(個人番号の利用範囲) ⑤設楽町過疎地域持続的発展計画の変更 1件 / 計5件 過疎地域持続的発展計画の変更(町道・林道・農道等維持修繕、改良舗装工事、夜間ヘリポートの照明器具等点検改修、ゴミ収集用トラック・バックカー車の定期更新、校務支援システム導入等)	①、③、④の3件の議案を全員賛成で可決 ②、⑤の2件の議案を賛成多数で可決

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
②	○	○	×	○	○	○	○	×	○
⑤	○	○	○	○	○	○	○	×	○

件名	結果
議案 令和6年度補正予算 一般会計、4特別会計及び1公営企業会計 / 計6件 一般会計(第3号)、国民健康保険特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計、農業集落排水を含む下水道事業会計	5件の補正予算を全員賛成で可決 国民健康保険特別会計は賛成多数で可決

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
国保補正	○	○	○	○	○	○	○	×	○

件名	結果
議案 令和5年度歳入歳出決算の認定 一般会計、8特別会計及び2公営企業会計 / 計11件 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、町営バス特別会計、つぐ診療所特別会計、田口財産区特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計、簡易水道事業会計、農業集落排水を含む下水道事業会計	一般会計、後期高齢者医療保険特別会計、国民健康保険特別会計は賛成多数で認定 6特別会計及び2公営企業会計は全員賛成で認定

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国保特別	○	○	○	○	○	○	○	×	○
後期高齢特別	○	○	○	○	○	○	○	×	○

件名	結果
陳情 陳情4件 ①定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情 ②私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために設楽町独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書 ③国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書 ④愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	①全員賛成で採択 ②、③、④、反対多数で不採択

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
②	採 択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	採 択	不採択
③	採 択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	採 択	不採択
④	採 択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	採 択	不採択

主な質疑 ▶ 令和6年12月2日以降、紙の保険証が発行されない

- Q** マイナンバーカードを持っていない人、持っていても保険証としての利用登録をしていない人はどうすればいいのか。
- A** 後期高齢者医療広域連合では、今までの「被保険者証と資格証明書」を「資格確認書等」に改めることとした。「資格確認書」は、加入者証の代わりとなるもので、マイナンバーカードを持っていない人、持っていても保険証としての利用登録をしていない人が医療機関を受診する際に紙の保険証代わりに使用できる。「資格確認書」は、上記の人には手続きをしなくても届く。

令和5年度 決算認定

会計区分	歳出額	前年度比
一般会計	56億7669万円	△7.2%
特別会計(8会計)	9億1673万円	24.2%
企業会計(2会計)	17億 123万円	

本決算では、学校給食の無償化や高齢者補聴器補助の前進などがみられるが、全体的には、加入者負担が限界にきている国保料を大幅に値上げし、段階的引き上げの第一歩とした。福祉移送サービスの利用料金の軽減も見送られた。

ガムの安全性には思考停止で、事業の促進をするばかり。個人情報漏洩の危険性があるマイナンバーカードの普及促進が行われ、戦争する国造りにつながるJアラート訓練を強行した。

移住定住事業は、めざす目標に程遠く、世界ラリー選手権などは町のその後に何が来るのか定かでない。

よって、決算認定は不可とすべき。

田中邦利議員
反対



原田純子議員
賛成

やすらぎの里大規模改修による25室個室入居と利便性、安心安全の確保は、老人福祉事業の取組みとして賛同する。また豪雨災害による1億6,000万円規模の復旧工事では、携わった皆様の迅速な対応と働きに感謝したい。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策費の活用で、給食費を無償とし、プレミアム付き商品券3万冊、発行総額1億9,500万円分が町内消費に回った。

設楽ダム水源地域整備事業、振興事業では、道路整備、簡易水道・下水道整備事業等が進められ、町の顔でもある3つの道の駅も健闘している。

よって、決算認定に賛成する。

決算の質疑

あれこれ

総務建設委員会

決算特別委員会に付託された令和5年度一般会計、8特別会計、2企業会計決算の質疑を行いました。

9月10日	総務建設委員会所管分の質疑	一般会計	126件
		4特別会計	0件

■ 主な質疑の内容

地域おこし協力隊事業

Q 事業計画の中に高額な資金の必要な事業がみられるがどこから捻出する計画になっているのか。

A スタートアップとしての期間は3年間で、活動費として年200万円を活用、その後は本人調達という形になる。

ふるさと納税事業

Q 現在の寄附の状況は？またここで生まれたお金をどのように使ったか公表する考えは。

A 寄附1,118万円、経費(返礼品等)306万円、住民税免除307万円、免除額の75%を交付税補填230万円、実質収支735万円。ホームページ上で、具体的な事業の公表は行っていないが、必要と考えており検討している。

Q ポータルサイト手数料が4年と5年でかなりの差があるがなぜか。

A 納税実績が1,000万円を超えるか超えないかの差。

庁用車管理事業

Q 40台乗用車所有の中で災害対応車両は所有しているか。

A 特にしていない、ある車をその都度対応して使っていくことにしている。

田口高校資格取得支援事業

Q どのような資格か、またお仕事フェアに10事業所の参加があったが就職に繋がった件数はあるか。

A 英検や危険物の資格取得、就職に繋がった実績はないが、就職あっせんが主目的ではなく、中高生の方に地元で働く大切さや魅力を説明する場とご理解いただきたい。

地区集会施設改修費補助金

Q 沖駒区集会場改修工事76万1,000円は全額補助か。

A 1/2補助である。

人口ビジョン

- Q 現在の人口減少ペースだと人口ビジョンの達成は難しいと思うがこの予想外の減少の原因は何か。
- A 人口減の原因は自然減が一番多い、若者の転出が多いなどがある。子供たちに地域に対する誇りと郷土愛を養ってもらい活躍していただくための人材育成に取り掛かっているところである。

北設楽郡公共交通活性化協議会

- Q 地域公共交通を存続するために今どのような課題があるのか。
- A 一番は運転手の確保だと聞いている。

自治功労表彰

- Q こちらの表彰がされていないようですがどのようなになっているか。
- A ここ数年できていなかったが、来年の合併20周年イベントの中で表彰していきたいと考えている。

特定地域づくり事業推進補助金

- Q 組合員数も増えて順調な滑り出しだが、現時点での問題点は。
- A マルチワーカーという派遣労働者が現在1名、こちらの人材確保に苦慮している。

情報基盤整備

- Q 民間委託の進捗状況はどうなっているのか。
- A プロポーザルを行い、業者の選定は終わった。これから条件などを煮詰めて、契約締結の折には、まず北設広域事務組合の議会でお示しするところが出発だと考えている。

豊鉄バスIC導入補助金

- Q 今年度中にやると聞いていたが進捗状況は。
- A 2025年春と聞いている、各町村でもICカード発行が出来るように機械の導入の準備を図っていると聞いている。

農業振興費

- Q 燃料高騰、肥料餌代高騰に対する支援が打ち切られた理由は。
- A 財源がコロナの臨時交付金であったため、こちら的大幅減と直結している。その中で物価高騰に対応する観点から広く多くの人に対策をしたいということで、プレミアム商品券のほうに大きなお金を充てたため。

鳥獣保護、狩猟活動事業

- Q 毎年1,000頭以上捕獲していても被害は増えている、また猟師の数は増えているのに捕獲数が減っているのは捕獲奨励金の減額が原因ではないのか。
- A 県の試算では年間600~700頭捕獲しないと減らないという試算であったが現在1,200頭捕獲しても減らない。試算が違っていたので県に奨励金を考えていただきたいとお願いしている。

JA愛知東結婚相談所負担金

- Q 実績等あれば教えてほしい。
- A 相談員として4名の方に対応していただいている。お見合い事業を行い34名の参加者があり、管内で4組、うち2名の町民の方が成婚された。

農林振興費

- Q 農業、林業どちらも重要な産業だと思うが、振興費の大きな差はなぜ。
- A 農地よりも森林の方が多く、財源的なところで森林環境譲与税により事業が積極的にされているため。

道の駅管理費

- Q 道の駅来場者数は、令和5年度31万人なのに令和8年度目標30万人を達成しているのになぜ上方修正しないのか。
- A 当初の総合計画の目標値である。新たな計画策定のときには上方修正する。

ボトル水製造業務委託

- Q どのように有効利用されたのか。
- A 観光パンフレットと同じような役割、イベント等で配布し、ボトル側面のQRコードを読み取りホームページを見てもらう。観光協会へのアクセス数も一時的に増えたと聞いている。

観光施設管理費

- Q 津具面ノ木のピットの使用案その後進展は。
- A 具体的に何かということはない。今は静かな癒しの場所ということで理解をしていただきたい。

住宅費

- Q 昨年に比べ特公賃住宅の入居率が上がったが、今後も入居率を上げるための施策は。
- A 広報等でこまめな周知等を今も行っているが、これからも続けて行きたいと思っている。
- Q 農林業担い手支援住宅の入居数が0人になっている。対策を考えているか、また売却等も考えられるのか。
- A 制度、支援内容を外へ発信しているが、さらに強化していかなければと思っている。売却は考えていない。

土木建設工事

- Q 設計契約の段階で週休2日制に対応したものか。
- A 去年の段階で適用できるものはほぼできている。

トンネル

- Q トンネルの数を減らすとされていたが、その後の状況は。
- A トンネルは堤石トンネルと清嶺小学校奥の寒狭第3トンネルの2か所を閉鎖の目標をもって計画で、後者は安全確保が難しいためバイパス化を検討している。

消防団員等福利厚生事業

Q 準中型自動車免許取得費補助金とあるが、免許制度に振り回されない車両に切り替えていく考えはないか。

A 来年度から積載車のほうで一部検討したいと思っている。

消防団員数

Q 正規団員、準団員、支援団員合わせて何人になるのか。

A 支援団員から準団員へ移動するので全体の数は変わらず239名。

防災アプリ

Q 停電などで広報無線が使えない時に防災アプリで情報を流していた。もっと積極的に普及させる必要があると思うがどうか。

・ A 9月9日現在23.56%の普及率である。懇談会での周知や、老人クラブゲートボール大会などへ担当者が現地に出向きお願いするなど、足を運びながら少しずつでも普及を図っていききたい。

防災備蓄品

Q 前年よりも増えている備蓄品はあるか。パーティション等の状況は。

A 備蓄品に関しては廃棄分を補充しているので増減なし。ワンタッチパーティションは300枚保有している。

基金

Q 基金の運用についてどう考えているか。

A 財政課としては、まず基金運用要綱の作成を考えている。情勢を注視しながら運用方法を考えていきたい。

総務建設委員会

9月10日開催 / 付託された議案5件を審議しました。
付託された議案は全て「原案のとおり可決すべき」と決しました。

決算の質疑

あれこれ

文教厚生委員会

9月11日 文教厚生委員会所管分の質疑	一般会計	88件
	4特別会計	10件
	2企業会計	3件

■ 主な質疑の内容

介護職資格取得支援事業

Q 介護職資格取得支援事業について 0申請はなぜか。

A 東三河広域事務組合で同様の補助している。ここでの申請は外れた方への救済処置なので0となっている。(令和5年度は3名の補助実績。)

Q 介護人材不足の対応は。

A 広域連合と連携、町内事業者と調整を図り、人材確保していきたい。

福祉移送サービス

Q タクシー利用者は減、福祉移送サービスは増の理由は。基本料の軽減は考えないか。利用者の偏りはないか。

A 事業者がフルに稼働できなかった。基本料金500円の変更は考えていない。利用者に偏りはない。

成年後見支援事業

Q 成年後見支援センターの委託事業の実績は。

A 5年度は6年度からの本格実施の準備段階での予算計上である。支援ケースは1件あり。

平和祈念式典

Q 平和祈念式典を戦没者追悼式に戻すことは考えないか。

A その考えはない。隔年開催の方向は変わらない。

養護老人ホームやすらぎの里改修工事

Q やすらぎの里の運営費の増額について。監査委員会の指摘でさらなる老朽化対策(修繕)が必要とされているが。

A 2人部屋を1人部屋にすることから改修を始めている。今後必要な修繕は生じる可能性はある。

栄養治療食補助事業・補聴器購入補助事業

Q 栄養治療食補助事業や補聴器購入補助事業は大切。

A 大切な補助事業なので成果報告書にも掲載していく。

要介護認定

Q 要介護認定率20%目標は認定率を下げようとしているのか。

A 要介護要支援等に至らないように予防事業に力を注ぐ目的である。

みらい工房の賃金

- Q みらい工房の通所者賃金はどのように決定されているか。
- A 相場では1日200円が多いが、700円にしている。来年度は物価上昇分の追加を検討していく。

宝保育園の運営

- Q 宝保育園は令和7年度から町営化になるが、令和5年度の決算状況は。
- A 活動費の予算約3,498万円から決算約3,505万円かかり、予算時より約7万円マイナス。マイナス分は積立、預貯金等で賄った。

放課後児童クラブ

- Q 放課後児童クラブの件。職員がいないので対応できていない。資格緩和は考えないか。
- A 何か事故がある場合に問題になる。資格要件の緩和は考えていない。

障がい者避難計画

- Q 個別の避難計画作成費7,000円とは。
- A 重度障がい者1人に対し、個別の避難計画を作成した。

衛生費関係

- Q 生ごみ処理機設置補助金の実績は。
- A 3件（津具、田口、西納庫）。
- Q ゴミステーションの設置は何台か。
- A 5基（平山、津具5区、大平、東部、裏谷地区）。

各種予防接種関連事業

- Q 予防接種実施率の带状疱疹1.8%、肺炎球菌0.7%と低い理由は。任意接種だが補助を考えないか。
- A コロナの高齢者接種と重なったことやPR不足があった。今後PRしていく。带状疱疹ワクチンの助成（50歳以上）に生ワクチン8,000円のうち2分の1補助、不活性化ワクチン2万2,000円のうち2分の1補助をしている。
- Q 新型コロナワクチン接種事業（65歳以上）ワクチン接種に効果・副反応があることの表記をお願いしたい。
- A 両論表記をして希望者のみ接種する形にしておく。

自殺予防対策

- Q 自殺対策協議会委員報償は、2万5,000円の委託料から変わったのか。
- A 委託という形でなく、年1回の会議の報償である。

したら保健福祉センターの老朽化対策

- Q 保健福祉センターの外壁工事、修繕91万8,940円。救護所に指定されているため、今後の修繕計画は。
- A 築25年経過し老朽化が進んでいる。屋根、空調等の修理を計画的に進めていく。

斎苑関係

- Q 斎苑費で人件費が減っている理由は。不都合はなかったか。
- A 会計年度職員1名から時給職員2名に変更したため。火葬1件あたり5万円の外部委託。運営に特段に問題はなかった。
- Q 津具斎苑跡地、搬入路（町道）の草刈り等の管理を。
- A 現場を確認後、対応していく。

不妊治療対策

- Q 不妊治療の助成金。7万890円と少ないと思うが。
- A 一般不妊治療15万円以内（実績は2件）特定不妊治療50万円以内の助成をしている。現状は保険診療分のみだが、自由診療の部分の助成も検討していく。

温室効果ガス削減

- Q 温室効果ガスの発生を抑える太陽光発電の設置数は。
- A R4は1件、R5は3件。平成20年度からの累計は94件。温室効果ガス削減に役立っている。

水道水・水質関係

- Q 水道水のPFAS（有機フッ素化合物）の調査はしているか。
- A 今年度7月から実施。今のところ検出されていない。
- Q 鹿島川の水質検査（大腸菌）の現状は。
- A 毎月実施しており、年12回の平均が390。下水道整備のおかげだと認識している。

ラーケーション

- Q ラーケーションについての効果は。
- A 保護者から聞く悪い評判はない。休んだ分の補充学習はされている。役場職員でも活用している者はいる。

奥三河郷土資料館の運営

- Q 奥三河郷土館の旧館の資料整備、解体や来館者数1万人目標の計画は。年間14回の企画展を実施することは無理があるのでは。
- A 旧館の整備の期限は言えない状況。解体はアスベスト等の対策費用が高額であり、止まっている。今年度は新見南吉展や来年度戦後80年の特別展を計画し、来館者が増えるように計画したい。月1回以上の企画展の実施は不可能なので実情にあった数値に見直ししたい。
- Q 入館料100円（現行300円）にして来館者を増やしてみてもどうか。
- A 入場無料の方法もあるが、施設の維持管理を考え、入場料をいただくという方向で進めている。

学校給食調理場センター化の業務委託関連

Q 給食調理場センター化の業務委託がプロポーザル公募になり、当初候補地が田口小学校グラウンドから現在の調理場跡地に変更になった理由とは。

A 候補地について再度検討したところ、現在の田口共同調理場の跡地も浄化槽撤去により候補地として可能となることが判ったため。今ある場所に建設すれば将来的に一番ランニングコストが少ないと判断した。建物の大きさも400㎡程度で収まる。

Q 調査検討委託費で470万円支払ったことは無意味だったのでは。

A 知識と知見がなかった。予算的なものの調査として理解していききたい。

閉校記念式典

Q 閉校記念式典の記念誌等の費用の詳細を示して欲しい。

A 田峯小560万円、津具中1,170万円。津具中記念誌の配布が終わったので12月議会で詳細を報告する。

Q 閉校した津具中学校のグランドピアノの利用方法は。

A 今後どのように使うか未定で移動できていない。

教育事務の評価

Q 教育事務の点検評価報告書の報償費とは。

A 令和5年度に初めて学識経験者2名に評価をお願いした謝礼である。

田口小学校給排水

Q 田口小学校給排水管の漏水は確実に止まったか。

A 以前は漏水があったが、工事終了後の完了検査時に止水した際に水道メーターが止まっていることを確認した。

教職員の多忙化解消

Q 教職員の45時間以上の勤務時間外勤務がまだ3割ある。意識改革だけで問題は解決できるか。増員は考えないか。

A いろいろな要因がある。一要因の教頭先生の多忙化があり、今年度から町で業務支援員を2名配置し、負担軽減を図ることができている。教職員は県費職員のため人事権が県にある。会計年度職員を雇う方法もあるが財政との相談が必要である。

給食費

Q 給食費の無償化は。

A 令和5年度はコロナ臨時交付金でできたが、今年度は半額助成をしている。一定の個人負担は必要と考えている。

ウバヒガン桜修復事業

Q 八橋のウバヒガン桜の樹勢回復事業の5年間計画の見通しは。

A 昨年度は268万円、今年度は200万円弱。（5年間で1,500万円程となる。）森林環境譲与税で賄う。旧八橋地区のシンボルを守るため議会でも承認していただいている。

特別会計

後期高齢者医療保険

Q 後期高齢者医療保険制度は令和5年度で2割負担になったのか。

A 令和4年10月から2割負担になった。2割から3割になる方が増えたのは、何か収入増があったと推測される。

文教厚生委員会

9月11日開催 / 付託された議案4件、陳情4件を審議しました。
付託された議案は全て「原案のとおり可決すべき」と決しました。陳情4件のうち、1件を「採択すべき」、3件を「不採択すべき」と決しました。

主な質疑 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

Q 令和6年度の国民健康保険料は1人当たり11万円で、5年度に比べ1万7,000円ほど引き上げられているが、当初からの予定だったのか。

A 4年度から段階的に引き上げを行っており、予定どおりである。

Q システム改修委託のマイナ保険証利用登録解除の具体的内容は何か。

A 今は原則、マイナンバーカードと保険証が紐づけされていて解除ができないが、12月からは申請すれば誰でも解除できるようにするためのシステム改修である。

9月13日開催／所掌事務の調査を行いました。

設楽ダム建設事業・関連事業の進捗状況について、国土交通省と愛知県から説明を受け、その後、付替道路国道257号1号橋、付替道路県道設楽根羽線、設楽ダム本体工事宿舍の現地視察を行いました。

付替県道設楽根羽線5号橋（タキゼ付近）過ぎ付近から現道へ管理用道路を
令和8年度に取付け、供用開始について及び用地未解決部分について

Q 管理用道路の詳細は。

A 車道幅員3mの2車線、延長約400m、勾配7%で、現道の通行止めを回避しながら工事をする。

Q 供用開始を令和8年度のいつ頃を予定しているのか。

A 今現在、図面の作成を行っており、これから立木の伐採、工事を行っていくので、時期の詳細は示せない。

Q 現在、供用を行っている田口後口付近から小松集落までは、大型車通行止めにしてあるが、完成した場合には、全線2車線で通行できるようになるのか。

A 全線2車線で供用していく。

Q 完成後の工事車両の通行はどうなるのか。

A 地元の皆さんの通行に支障をきたさないように、現道も利用していく。

Q 用地難航箇所の状況は、どうなっているのか。

A 残り1件で、その土地の相続人190人のうち、187人と契約ができた。残りの3人のうち2人が行方不明で、裁判所で管理人を選定して契約を進める方向で進んでいる。後の1人は海外に住んでいてメール等でやり取りを行っている。

ダム本体工事用道路の仮橋橋脚（鋼管杭）の逸脱について

Q 仮橋橋脚（鋼管杭）杭は、岩盤まで届いていたのではないかと。また、法面の地盤に問題があったのではなかったか。

A 杭の岩着については、過去の資料を確認したところ、強度等も問題なく、岩着していた。ただ、それより下の部分まで大雨で浸透したしまったため、杭が流されたと思われる。

Q 杭が流され修復作業を行っているとのことだが、工事の遅延等の影響は出てこないのか。

A 交流拠点施設に仮置きを行うので、工期等の遅延はないと思われる。

Q 仮置きした残土により、濁水が出るような心配はないのか。

A 下流部分で濁水防止策を行っているので、大雨では出る可能性もあるが、少雨では出ないと思っている。

Q 300mmのパイプで水を流していたということだが、法面に流していたのか。

A 本来、江ヶ沢まで流していたが、大雨により流失してしまった。

南海トラフ地震の巨大地震注意情報への対応について

Q 南海トラフ地震の巨大地震注意情報が出されたが、それに伴う現場業者への指導等をどうしたのか。

A 〔国〕業者から出された施工計画書に沿って対応をするが、今回はお盆前ということで、業者が作業を中止した。

A 〔県〕監督員から業者に連絡して、施工計画書に基づき避難路等の確認とか、作業の一時中止を行った。

本体工事に係る労務者数や事件等の対応は

Q 本体工事に伴う外国人労務者は何人位になるのか。また、事件が起こった場合の対応はどうか。

A 50名程の方が今年度内に入る予定だと聞いている。外国人の労働者についても日本語教育等、いろんな教育を受けてから現地に来るので、事件等は起こらないとは思いうし、悪いことをすれば法に基づいて厳罰に処する。また、JVとしても、地域の皆さんとの交流を積極的に進め、信頼されるよう努力する。

残土運搬や残土処理の方法について

- Q 設楽大橋からタキゼ間の狭隘^{きょうあい}の箇所^{きょうあい}で、ダンプが待避所に突っ込んでくるような苦情をよく聞くと、指導をしているのか。
- A 施工工事業者を通じてしっかり対応していく。
- Q 月バイパスの残土を町内に運んでいると聞いたが、どこに運んでいるのか。
- A 〔県〕月バイパスの残土は、八橋へ仮置きしているいろんな工事現場に盛土材として利用している。
- Q その残土にはヒ素の成分は混ざっていないか。
- A 調査をしているが、今のところヒ素は含んでいない。
- Q 八橋に残土を仮置きしているのは分かるが、汚濁処理の施設がなく濁水が流れてくるとの話を聞くがどうか。
- A 現地の確認を行って、濁水が出ないような対策を練っていききたい。

国道420号田峯バイパスの進捗は

- Q 今年度、田峯バイパスのトンネル坑口付近の取付工事に着手するとの話を聞いているが、進捗状況はどうなっているのか。
- A 終点側の八雲苑付近は11月上旬に契約できている。また、三都橋側については、設計の見直し中で年度内に発注したいと思っている。

その他（小水力発電事業等）

- Q 小水力発電事業について、ダム工事事務所は管理のための自家用発電を行わないと聞いたが、その理解で良いのか。
- A 町から発電規模等が示されたので、建設ヤードや発電水量等を考慮すると発電を行う検討はしていない。
- Q 議員大会で大村知事が町の発電事業に全面的に協力するとの話を聞いたが、補助金はないし、人的な応援もままならないとのことであったが、知事の言っていることと違っているがどういうことか。
- A 〔県〕町に直接職員を派遣することではなく、水利権の取得やPFI事業の推進へのアドバイス等の支援を行っている。
- Q 町有地を貸しているダムの展示場で、草刈りや粉じん対策が十分でないとの苦情を地域住民から聞いているが、対応はどうか。
- A 対応に不十分なところがあったと思うので、これからしっかり管理していく。



◀ 付替道路県道設楽根羽線

農業と二地域居住政策

要旨 国交省は「地方の人口減少が著しく進行している地域で、住民の生活環境が持続出来ない恐れが高まる中、U・I・Jターンを含む若者・子育て世帯を中心に、二地域居住に対する要望が高まっており、二地域居住は、関わる人を増やし、魅力的な地域づくりの助けとなるので、そのための居住環境の整備への制度的な支援が必要である」として法改正を行った。また、農水省は、国際情勢や食料・エネルギーを巡る状況が大きく変容してきている中で、「食料安全保障の確保」を新法の基本理念の一つとした。

質問 空き農地を利用した週末農業と二地域居住を組み合わせる農地を荒廃から守り、自給自足的な暮らしを通して、食と地域が守られる仕組みはできないだろうか。

産業課長 ①週末の月3～4回程度の世話では食物の安定した生育と、荒廃地解消に期待できない。②不耕作地に作付けするには労力と資金と覚悟が必要。③農地とセットになった空き家が少ない。④直接町民の利益に結びつかない。従って、仕組みの実践は容易ではない。

質問 農業と二地域居住について町長のお考えを伺う。

町長 法律の整備動向を見ながら、県等の関係機関と協議をし、遅れることなく対応して行きたい。関係・交流人口の創出を通して移住・定住につながることを期待する。



原田 純子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



原田 直幸 議員



QRで
動画で
見よう!

設楽ダム小水力発電事業の建設は

質問 町単独での発電所建設費に21億円必要だというが、補助金や起債は見込めないのか。

企画ダム対策課長 補助金の交付はないし、起債の借り入れはできない。

質問 大村知事は、小水力発電事業に全面的に協力すると言っているが、補助金等の支援はないのか。

町長 PFI事業者の選定や水利権の確保等、側面から協力いただいている。

質問 PFI事業では、町の持ち出しが4億円で済む理由は何か。

企画ダム対策課長 設計、建設、運営管理をPFI事業者が行うので、町は水圧管の施工8千万円と国への負担金3億2千万でよいと考えている。

質問 設楽ダム工事事務所は自家管理用発電を行うのか。

町長 町が余水量の大部分を利用するので、ダム工事事務所としての発電は行わない予定だと聞いている。

住民票や印鑑証明等のコンビニ交付は

質問 愛知県における導入実績はどうか。

町民課長 住民票と印鑑証明が79.6%、戸籍が53.7%となっている。

質問 初期の導入費用と年間の管理費用はどの程度か。

町民課長 試算では、初期に1,590万円、年間管理に411万円が必要となる。

質問 これからの時代、住民サービスとしてのコンビニ交付は不可欠だと思うが、町の方針はどうか。

町長 DXの推進も始めているが、費用がかかる割には効果が薄いと感じられるので、導入には慎重に対応していきたい。

行政サービスを低下させない施策を

質問 公共福祉空白地有償移送サービス「のってかっせ（通称）」を津具地内から町内全域に拡大できないか。

生活課長 タクシー事業者との協議が必要なため困難と思われる。現状を有効活用する。

質問 食料品店のない地区に移動スーパーを立ち上げるつもりはないか。

産業課長 静岡県の業者が社会貢献事業の一環として神田・名倉方面の8か所で7月より毎週水曜日に移動スーパーを実施している。町が事業主体になることは検討しているが事業の質や財政の問題から難しい。

質問 津具中学校の跡地利用の現状は。

教育課長 地区の検討委員会は立ち上がっていない。ジュニアユースオリエンテーリング実行委員会から大会期間中の使用の依頼はある。通信インフラ整備は跡地利用の議論後に進める形が良いと考える。

質問 津具総合支所の夜間休日の宿日直廃止に伴い利用制限がかかるのでは。

総務課長 支所での会議は職員がいないと会議室など利用できなくなる。セキュリティ対策を含めて現在検討を進めている。

町長 地域で管理している施設の利用を相談していく。

質問 保育園統合の今後のビジョンを示していただきたい。

町民課長 将来は保育園一園化を目指している。来年度から未満児2名に対して1名の保育士が必要となり、保育士不足は続く。第3期子ども・子育て支援事業計画で示していく。園児数が10名になると困難な時期となる。園児の送迎は基本的には家庭の方をお願いしたい。



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

会計年度任用職員の処遇改善を

質問 任用職員の差額の4月遡及給付は行っているか。勤勉手当、時間外勤務手当の給付は。

総務課長 差額を4月遡求給付している。勤勉手当は今年6月から支給し、時間外勤務手当も正規職員と同じように支給している。

質問 任用職員のボーナス、退職手当は。

総務課長 制度が始まった令和2年度より期末手当を支給している。退職手当の支給はない。

質問 今年夏の給与勧告、10月からの最低賃金引き上げは任用職員に適用されるか。

総務課長 時給単価が最低賃金以下となる場合は、10月以降に適用している。

町長は、政府に「核兵器禁止条約への署名・批准」を求めて

質問 いま、核戦争の危険を現実を感じる事態が起きているが、一方では、核兵器禁止条約が国連会議で採択されている。町議会は、「『核兵器禁止条約』に署名・批准を求める意見書」を全会一致で採択している。町長も、要請署名に賛同・署名し「核兵器禁止条約に署名・批准をするよう」国に求める考えはないか。

町長 唯一の戦争被爆国の国民として、核兵器のない世界の実現に向けて取り組んでいかなければならないし、条約が、全ての締約国に核兵器の廃絶を求めていることには大きな意義がある。しかし、町を代表する立場なので、国の国防・外交上、判断していることにものをいうのは控える。



村松 一徳 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

年功序列の早期見直しについて

質問 年功序列のすべてが悪ではないが、人事においてもっと柔軟に対応する必要があると思う。人事評価及び個人の希望の反映状況、専門的な人材の育成や、年齢に関係のない役職への配置への考えは。

総務課長 多くの要因を考慮して人事を行っている。専門的な人材配置は、メリット、デメリット両方考えられる。多くの課を経験してもらい、広い視野を養って中核を担う人材の育成が第一優先と考える。年功序列を見直す検討は必要なことと認識はしているが、行政サービスを維持するためにすぐにはできないことをご理解いただきたい。

町長 職員全体の理解と意識を変える必要があり、簡単ではないが諦めずやっていきたいと思う。

定住者を増やすために

質問 移住者、転出者、若者、特に懇談会などに普段出られない方への聞き取りをする考えはないか。

企画ダム対策課長 移住検討での意識調査は出来ていると考えるが、移住後の思い、理想と現実のギャップは確認できていない。毎月開催しているアウトドアカレッジや設楽夜市等イベント開催の中で気軽に話のできる場を作り、この地域を、住む人を知ってもらい、みんなが主役の住民協働のまちづくりにつなげていきたい。



金田 敏行 議員



QRで動画で見よう!

土屋町長の町政3か年の町政を問う

質問 3か年の自己評価は。

町長 ダム完成は遅れたが町の発展につなげる。小水力発電は町民に還元したい。財政は縮小出来ないので苦慮しているが、スリムにする取組は必要。自己評価は、ある程度合格点をあげても良いかなと思う。

質問 アウトドアを活用したまちづくりの進捗状況は。

町長 多くの方に設楽町を知っていただき、訪れ、ファンになって移住をしていただくのが理想。町内にダム関連の方が約400人来られ宿舎もできた。大きなチャンスだと思いサポートもしたい。

質問 財政調整基金の取崩が続くと、近い将来には財政危機に至ると言われたが。

町長 実際には大幅に減ってないが、次年度から財政調整基金を組み込む予算はなくしたい。

質問 貯木場跡地の現状は有効利用とは言えない。今後の活用方法は。

企画ダム対策課長 現在、有効活用のための基本構想を構築中である。跡地を2つに分けて、国道側に交差点を設け臨時駐車場を含めたミニタウンとするゾーン、奥手は県有林を利活用できる森林を含めたゾーンとして検討をしている。

質問 公共施設の維持管理、解体を含めて今後の考えは。

町長 公共施設等総合整備基金が1.2億円あり、有効に活用する。後年度に過度な財政負担とならないよう基金積立が必要。多くの公共施設があり、年間の維持管理費が6億円から7億円と言われている。施設をもう少し縮小したい。



村松 純次 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

議会活動報告

7月

2日 議会臨時会

活性化委員会

12日 東三河市町村議会議長協議会定期総会

19日 奥三河幹線道路（北設井桁道路等）
整備促進協議会

三遠南信自動車道
建設促進奥三河期成同盟会

25日 東三河市町村議会・事務局職員研修

30日 決算審査

31日 決算審査



8月

1日 決算審査

2日 決算審査

5日 北設楽郡町村議会議員大会

6日 活性化委員会

7日 議会運営委員会

8日 東三河広域連合定例会（第1日）（豊橋市）

9日 リニア中央新幹線期成同盟会総会

東三河広域連合定例会（第2日）（豊橋市）

15日 愛知県議会議長セミナー（第1日）

16日 愛知県議会議長セミナー（第2日）

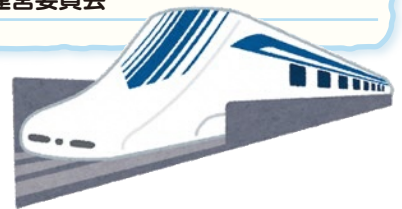
20日 設楽町平和祈念式典

21日 例月出納検査

22日 議会全員協議会

28日 設楽ダム関連予算概算要求説明

29日 議会運営委員会



9月

5日 議会定例会（第1日）

決算特別委員会（第1日）

9日 議会定例会（第2日）

10日 決算特別委員会（第2日）

総務建設委員会

11日 決算特別委員会（第2日）

文教厚生委員会

13日 設楽ダム対策特別委員会

17日 議会運営委員会

20日 議会定例会（第3日）

26日 北設広域事務組合議会定例会

12月定例会

の日程（予定）

場所：設楽町役場 議場

時間：午前9時から

12月3日（火） 開会・一般質問・提案説明

12月5日（木） 総務建設委員会

12月9日（月） 文教厚生委員会

12月11日（水） 設楽ダム対策特別委員会

12月18日（水） 委員長報告・討論・採決・閉会

（設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から）（日程は変更になることもあります）

広報編集委員 委員長：村松純次 委員：七原剛 原田直幸 原田純子 村松一徳